■特長

この時計は、EL（エレクトロルミネッセンス）を用いた発光方式により暗闇の中でもデジタル部を光らせることで、表示内容を確認することができます。
1/1000秒単位計測の100時間計（ストップウオッチ機能）と、連続99回までの繰り返し使用ができ、最大９時間59分まで設定できるリピートタイマー機能を持っています。前回ラップを10秒前から知らせる予告機能（ラップインジケータ機能）付です。又、計測したデータ（ラップ）は自動的にメモリー（記憶）し、リコール（呼び出し）することができる機能を合わせ持ったコンビネーションクオーツです。

１．アナログ部
（1）時刻機能
・３針（時・分・秒）
・リュウズ操作により時刻を修正します。

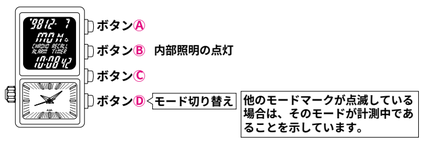
２．デジタル部
（1）時刻・カレンダー機能
・うるう年などの月末修正がいらない「フルオートカレンダー」（1998年～2047年）機能付です。
・ボタン操作により内部照明（ELパネライト）を１回押しにつき約３秒間点灯させることができます。
（2）ストップウオッチ機能
・100時間計（1/1000秒単位）
・ラップ計測と同時に、最大100個のデータを自動的にメモリー（記憶）します。
・前回ラップの10秒前になりますと、予告音が１秒ごとに10秒間鳴り、前回ラップ時にタイムアップ音で知らせます。
・「スタート／ストップ／ラップ／リセット」の各操作に連動してELパネライトが約３秒間点灯します。
（3）リコール機能
・メモリーされたデータを、計測後はもちろん、計測中でもリコールすることができます。
・「ラップ」を呼び出すごとにELパネライトが約３秒間点灯します。
（4）タイマー機能
・最大９時間59分まで設定可能です。（減算タイマー：１分単位設定）
・「スタート／ストップ／再スタート／リセット」の各操作に連動してELパネライトが約３秒間点灯します。
・セット時間の３秒前になると予告音（３秒間／EL連動）で、セット時間になると、タイムアップ音（６秒間／EL連動）で知らせます。
・リピート回数は、99回までセットできます。
（5）アラーム機能
・５チャンネル（ch）のデイリーアラーム機能付です。各ch、アラームのON/OFF（セット／解除）切り替えができます。（５チャンネルのみアラーム音を変えてあります。）

「内部照明（ELパネライト）機能」
・ボタン操作により、特定の状態であれば、１回押しで約３秒間点灯します。
・物質に電圧をかけると光を放つ現象（エレクトロルミネッセンス＝EL）を利用した発光方式を採用しています。

※エレクトロルミネッセンスの発光体は、発光時間の経過と共に徐々に輝度が減衰する特性を持っています。
（詳しくは“エレクトロルミネッセンスパネル(内部照明)について”の項をご参照ください。）

■ボタンの名称と表示の切り替え

例：時刻・カレンダーモード



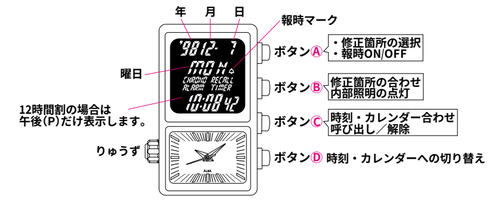
●ボタンⒹを押すごとに、つぎの順序で切り替わります。

→ 時刻・カレンダーモード → ストップウオッチモード －CHRONO－ → リコールモード －RECALL－ → タイマーモード －TIMER－ → アラームモード －ALARM－ →

※操作確認音がセットされていますと、モードを切り替えるごとに「ピッ」と鳴ります。
「アラームモード」から「時刻・カレンダーモード」に切り替わる時のみ、モード１周の区切りがわかる様に音色を変えてあります。（操作確認音については、「アラームの使いかた」を参照してください。）
※内部照明が点灯している間、まれにかすかな音を発する場合がありますが、異常ではありません。

■時刻・カレンダーの合わせかた

デジタル部を先に合わせてください。
●ボタンの名称とはたらき



●ボタンⒹを押して「時刻・カレンダーモード」にしてください。
①ボタンⒸを２～３秒間押し続けると、「秒」が点滅を開始して、「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。
②ボタンⒶを１回押すごとに次の順序で合わせたいところ（点滅部）を選ぶことができます。
※年月日をセットすると「曜」は自動的に設定されます。

ボタンⒶを押すたびに修正箇所が替わります。

→ 秒 → 分 → 時 → 日 → 月 → 年 → 12H/24H →

③時報と同時にボタンⒷを押すと「00」に合います。
※秒表示が30～59秒のとき、ボタンⒷを押すと１分繰り上がって「00」に合います。
※時刻合わせは電話の時報サービス（TEL.117）が便利です。
④合わせたいところを点滅させたあとボタンⒹを１回押すごとに点滅している数字が１つずつ減り、ボタンⒷを１回押すごとに点滅している数字が１つずつ進みます。（「12H/24H」「秒」を除く）
※ボタンⒷ、Ⓓを押し続けると、早送りできます。
※修正中はボタンⒷを押しても内部照明の点灯はしません。
⑤「時刻・カレンダー合わせ」が終りましたら、ボタンⒸを１回押して「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも２～３分後には「時刻・カレンダー表示」へ自動的にもどります。
※カレンダーは1998年から2047年までの年・月・日・曜がプログラムされていますので、この間、うるう年でも月末のカレンダーを修正する必要はありません。
※報時機能については、「アラームの使いかた」を参照してください。
※時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンⒶとボタンⒷが同時に押された状態です。その場合は、ⒶⒷⒸⒹいずれか１つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。つぎにあらためて、上記の①から合わせ直してください。

●アナログ部の時刻の合わせかた
①リュウズを引き出すと秒針が止まります。秒針は12時の位置に止めてください。
②リュウズをまわして針を合わせます。分針は正しい時刻より４～５分進めてから逆にもどして合わせてください。
③デジタル時計の秒が「00」秒になったら、リュウズを押し込みます。
※時刻合わせの際、若干分針が動く場合がありますが、故障ではありません。

＝全点灯表示＝

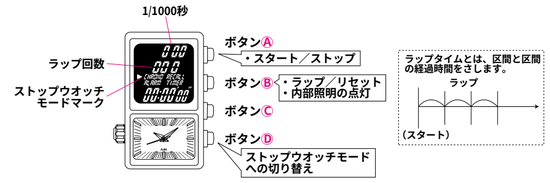
■製品仕様

１．水晶振動数　：32,768Hz（Hz＝１秒間の振動数）
２．精度　　：平均月差±20秒（気温５℃～35℃において腕につけた場合）
３．作動温度範囲　：－５℃～＋50℃
４．表示内容　　：
（1）アナログ(針)部　時・分・秒（３針）
（2）デジタル部
「時刻・カレンダーモード」
年、月、日、曜日、P（12時間制のとき表示）、時、分、秒
（アラーム・報時マーク）
「ストップウオッチモード」
ストップウオッチモードマーク　100時間計（時、分、秒、1/1000秒）、LAP回数
ラップマーク（アラーム・報時マーク）
「リコールモード」
リコールモードマーク　ラップタイム（時・分・秒・1/1000秒）
LAP回数、ラップマーク
（アラーム・報時マーク）
「タイマーモード」
タイマーモードマーク　減算タイマー（最大９時間59分設定可能／時・分・秒）、リピート回数（１～99回）
繰り返した回数（１～99回）（アラーム・報時マーク）
「アラームモード」
アラームモードマーク　デイリーアラーム　時・分・P（12時間制のとき表示）
ON/OFF（セット／解除）（アラーム・報時マーク）　ch（チャンネルマーク）
５．駆動方式　　：ステップモーター式
（アナログ部）
６．表示体　　：FE型ネマチック液晶
（デジタル部）
７．電子回路　　：C-MOS-LSI　１個　バイポーラIC　１個
８．使用電池　　：小型酸化銀電池　SB-B5　２個（SR-1120W）
９．電池寿命　　：約２年
※上記の製品仕様は改良のため予告なく、変更することがあります。

■ストップウオッチの使いかた

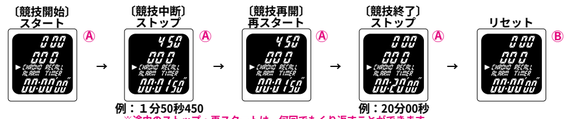
・1/1000秒単位、100時間計です。
・最大計測時間は、99時間59分59秒999です。
・データは、100（ラップ）個までメモリーします。
・ラップ最大計測時間は、９時間59分59秒999です。
・前回ラップの10秒前から予告音・タイムアップ音で知らせます。（鳴っている音の止めかたはボタンⒸまたはⒹを押してください。）
・スタート／ストップ／ラップ／リセット操作のたびにELが約３秒間点灯します。
・ラップ回数は、199まで表示します。

●ボタンの名称とはたらき



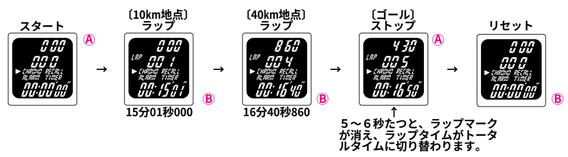
●ボタンⒹを押して「ストップウオッチモード」にしてください。
（1）普通の使いかた（例：100m競走）

（2）時間計測を積算で行う場合（例：バスケットボール）



※途中のストップ・再スタートは、何回でもくり返すことができます。

（3）ラップタイムを測る場合（例：マラソン）



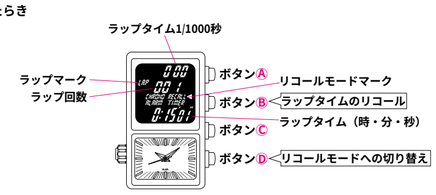
※ラップ計測後５～６秒間放置しますと、自動的に計測表示にもどります。
※途中のラップは、何回でもくり返すことができます。
※前回ラップの10秒前になりますと、予告音が10秒間鳴り、前回ラップ時になると「タイムアップ音」で知らせます。以降、ラップを取らないと鳴りません。（ラップタイムの最小計測時間が10秒以下の場合は鳴りません。）
※100時間以上計測すると、自動的にスタート状態に戻ります。
※ラップ回数は199回まで表示します。以降は、200（表示：000）、201（表示：001）と順次表示します。
※操作確認音については、「アラームの使いかた」を参照してください。
※ボタンⒷを押すごとに「ラップ」が計測され、100回目までメモリーされます。
ただし、101回目以降はメモリーされませんのでご注意ください。
※計測したタイム（ラップ）をメモリー（記憶）し、計測中でも、計測後でも自由に呼び出せます。
→「リコール（呼び出し）の使いかた」を参照してください。
※「ラップ」を１回以上とった後の「ストップ」は「ラップ」として数えます。

■リコール（呼び出し）の使いかた

・計測途中、リセット状態のどちらでもメモリーの呼び出しはできます。
・計測後リセットしても新しく計測しない限り、メモリーは削除されません。
・ラップタイムを呼び出すごとにELが約３秒間点灯します。

このストップウオッチは、最初の（１）～〔100〕区間までのラップタイムを自動的にメモリー（記憶）しています。メモリーしているラップタイムのリコール（呼び出し）は、次の順序でおこないます。

●ボタンの名称とはたらき

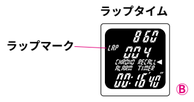


●ボタンⒹを押して「リコールモード」にしてください。
（1）計測を終了してからリコールする場合
例：100区間計測した場合
・ボタンⒷを押すごとに、記憶されたデータを次の順序で表示します。

（ラップ回数）
→[001]→[002]→[003]……→[098]→[099]→[100]→

（2）計測途中にリコールする場合
ラップ回数は最新データから表示します。
例：100区間計測した場合
・ボタンⒷを押すごとに、ラップ回数（データ）を次の順序で表示します。

（ラップ回数）
→[100]→[001]→[002]→[003]……→[098]→[099]→



※ボタンⒷを押しつづけると早送りできます。
※ラップ回数が101回以上の場合は、最初のデータから順に表示されます。
（[001]→[002]‥‥→[100]）

■電池交換後のお願い（システムリセット）とご注意

・電池交換後や、万一異常な表示（読めない表示など）になった場合、以下の操作をしてください。

●システムリセットのしかた
・必ずⒶⒷⒸⒹ４つのボタンを同時に２～３秒間押し、表示が消え、ボタンを離した後「98年１月１日 THU 12時00分00秒」の表示になります。

ご使用の前に下記の順番に操作してください。
①時刻・カレンダーの合わせ
②アラームの設定
それぞれの項目を参照ください。

■「ルミブライト」について

［お買い上げの時計がルミブライトつきの場合］
ルミブライトは放射性物質等を全く含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）物質を使用しています。
ルミブライトは太陽光や照明器具の明りを短時間（約10分間：500ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約３～５時間）光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度（明るさ）は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合により、光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

■液晶パネルの交換

この時計の液晶パネルは、５年を過ぎますと、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。
お買い上げ店、またはアルバ取扱店に交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■エレクトロルミネッセンスパネル（内部照明）について

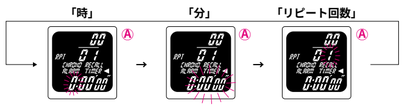
内部照明として使用されているエレクトロルミネッセンス（EL）パネルは、電池の電圧が低くなると、輝度（明るさ）が低下します。また、ELパネルは発光時間の経過と共に、徐々に輝度が減衰する特性を持っています。
※ELパネルの輝度は、点灯時間の累積で約200時間経過すると半減します。ご使用中に内部照明が暗くなったときは、まず、電池を新しいものに交換してください。電池を交換しても暗すぎる場合は、ELパネルの交換となります。お買い上げ店に交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

■タイマーの使いかた

・１分単位でセットできます。
・リピート（繰り返し）機能（１～99回）付きです。
・最大セット時間は９時間59分です。
・スタート／ストップ／再スタート／リセットの各操作に連動してELが約３秒間点灯します。
・セット時間の３秒前になると予告音（３秒間／EL連動）で、セット時間になるとタイムアップ音（６秒間／EL連動）で知らせます。

●ボタンの名称とはたらき

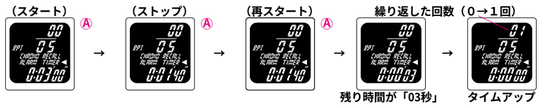
●タイマーの合わせかた
・ボタンⒹを押して「タイマーモード」にしてください。
①ボタンⒸを２～３秒間押し続けると、「時」が点滅表示し「タイマー時間合わせ」状態になります。
②ボタンⒶを１回押すごとに次の順序で合わせたいところ（点滅部）を選ぶことができます。



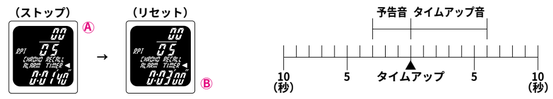
③合わせたいところを点滅させたあと、ボタンⒹを１回押すごとに点滅している数字が１つずつ減り、ボタンⒷを１回押すごとに点滅している数字が１つずつ進みます。
※ボタンⒹまたはⒷを押し続けると、早送りできます。
④タイマー時間合わせが終わりましたら、ボタンⒸを１回押して「タイマーモード」にもどしてください。
押し忘れた場合でも２～３分後には「タイマーモード」へ自動的にもどります。

●タイマーの使いかた
①タイマー時間をセットして、ボタンⒶを押してスタートさせます。
ボタンⒶを押すたびにスタートとストップを繰り返します。
例：タイマーセット時間（３分）
リピート設定回数（５回）

②タイムアップのお知らせ
残り時間が３秒前から毎秒予告音とELパネライトが点滅し、タイムアップすると６秒間タイムアップ音とELパネライトが点滅します。
・繰り返した回数（０→１回）



③タイマーストップ状態で、ボタンⒷを押すとタイマーセット時間へもどります。



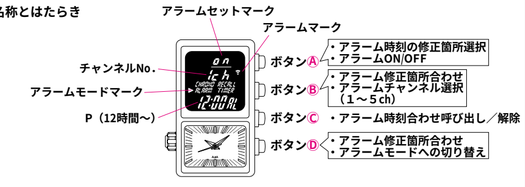
※「タイマー」・「アラーム」のセット時間と「ストップウオッチ（ラップインジケータ）」・「報時」が重なった場合、「タイマー」と「ストップウオッチ（ラップインジケータ）」が優先となっていますので、報時は鳴りません。
※「タイマー」と「ストップウオッチ（ラップインジケータ）」については、後から鳴った方が最優先され、重なった時点で先に鳴っていた方が報音を中止します。
※「アラーム」の鳴っている時間（通常：20秒）は、「タイマー」のセット時間によって異なります。
※リピート設定回数のセットが１回の場合、タイムアップと同時に計測は終了します。（表示はスタート時に戻ります）セットが２回以上の場合は、回数分だけ計測を繰り返します。
※鳴っているタイムアップ音（予告音）を止めたいときは、ⒶⒷⒸⒹ、いずれか１つのボタンを押してください。但し、ストップウオッチを使用中に鳴った場合は、ボタンⒸor Ⓓを押してください。

●計測中に他のモードに切り替えても正常に作動していますが、計測していない場合は、電池寿命が短くなりますので、作動を停止させてください。

■アラームの使いかた

・５チャンネル（ch）デイリーアラーム機能付きです。
・チャンネルごとにアラームのON（セット）／OFF（解除）切り替えができます。

●ボタンの名称とはたらき



●ボタンⒹを押して「アラームモード」にしてください。
①ボタンⒸを２～３秒間押し続けるとONまたは、OFF表示が消え、「時」が点滅表示し「アラーム時刻合わせ状態」になります。
②ボタンⒶを押しますと、押すたびに「時」と「分」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。
③合わせたいところを点滅させたら、ボタンⒹを１回押すごとに点滅している数字が１つずつ減り、ボタンⒷを１回押すごとに点滅している数字が１つずつ進みます。
④セットが終りましたらボタンⒸを押して「アラームモード」にもどしてください。アラームマークとセット（ON）マークが点灯します。押し忘れた場合でも２～３分後には「アラームモード」へ自動的にもどります。

⑤「2～5ch」を使用する場合は、ボタンⒷで「ch」No.を選択して、①～④の操作を繰り返してください。

※ボタンⒷまたはボタンⒹを押し続けると、早送りできます。
※12時間制の場合は、P（午後）に注意して合せてください。
※アラーム表示の12H/24Hは、「時刻・カレンダーモード」の12H/24Hに連動しています。

●アラームを鳴らしたいとき、鳴らしたくないとき。
※「アラームモード」でボタンⒶを押すごとに、セット（ON）と解除（OFF）ができます。

※「アラームモード」でボタンⒷを押すごとに「1～5ch」のアラームセット時刻とセット状態（ON/OFF）がわかります。

●鳴っているアラームを止めるには。
※アラームはセットした時刻になると、20秒間鳴り続けます。鳴っているアラームを止めたい時は、ボタンⒶⒷⒸⒹいずれか１つのボタンを押してください。但しストップウオッチを使用中に鳴った場合はボタンⒹまたはⒸを押してください。

●アラーム音の試し聴き（サウンドデモンストレーション）と報時並びに操作確認音のセットと解除をする場合

※「時刻・カレンダーモード」でボタンⒶを押すごとに、報時・操作確認音のセットと解除ができます。また、ボタンⒶとⒷを同時に押し続けると「アラーム音の試し聴き」ができます。
※時報マークを「点灯」した状態では毎正時の報時と操作確認音が鳴り、「消灯」した状態では報時と操作確認音は鳴りません。